

U40 建築賞



設計担当者

澤 秀俊

澤秀俊設計環境、岐阜県建築士会

旅館／岐阜県高山市

隠庵ひだ路 (碧の間、緋の間、売店)

構造 | 木造在来

階数 | 地上1階

敷地面積 | 4,783㎡

建築面積 | 1,553.3㎡

延べ面積 | 1,442.6㎡

竣工年 | 令和5年



1



2

1 緋の間。客室界壁側にモミのユーティリティカウンターを1本の帯のように設え、奥行きをつくり出す空間を計画した

2 露天風呂より飛騨山脈を望む。露天風呂の水位を下げることで風景を室内へ取り込む

3 碧の間。樹齢130年のモミのユーティリティカウンターが中心に据えられている。新設した大開口が庭の風景を切り取る

4 正面より売店を望む



4



3



碧の間・緋の間 平面図

選評

高山駅から車でさらに約1時間、奥飛騨と呼ばれる地域にある築30年の温泉旅館の改修である。

現地審査では今回改修された客室と未改修の既存の客室の両方を見ることができ、その効果の大きさに驚かされた。既存の建物は離れ形式の和風旅館で和室と板の間の2室だったものをワンルームに近い形のベッドルーム

とリビングダイニングという形に変え、天井を取り払って小屋組の構造体を現わしにしている。それにより空間がのびやかで古臭さがなく、それでいて地域性が十分に感じられる現代的な空間に変化させることに成功している。開口部の風景の切り取り方や露天風呂を通じて室内と屋外をつなげる方法も非日常の空間演出として魅力的だった。

設計者は高山の出身で、地元の林業家や製材所および大工や職人たちと緊密に連携しながら仕事を進めており、そのことが独自の木材の用法や仕上げの丁寧さなどに良く表れていたことも特筆すべき点である。

設計者による地域的な活動も含め、これからの取り組みに大いに期待する。(横内敏人)